

鹿児島流

熱いハートの医師 育てます



秋の霧島神宮（霧島市） 写真協力：観光かごしま大キャンペーン推進協議会

私の臨床研修医時代

米盛病院 救急科 **梅澤** うめざわ **耕学** こうがく

出身校 北海道滝川高校 ▶ 旭川医科大学

皆さんが臨床研修を行うにあたってまずしてほしいことは自分のロールモデルとなる医師を探すことです。研修先の病院でもいいですし、研修先以外の病院でもいいと思います。自分の進む科の先生でなくてもいいと思います。私は帯広厚生病院で初期臨床研修を行い、そのときの麻酔科の後期研修の先生がロールモデルでした。継続学習の方法、患者さんへの接し方、コメディカルとのコミュニケーション、キャリアプランの立て方、プライベートでの過ごし方などすべてが参考になり、こうありたいと思える先生でした。その先生とは今でもつながりがあります。実際に診療に入ると、辛いことや悩むこと、迷うことがあると思います。そのときは、ロールモデルの先生なら、どのように振る舞い解決していただろうかと思い巡らせることで自然と答えが出てくることがあると思います。いろんな医師と出会い会話をし、患者さんから多くを学び、一歩ずつ着実に前に進んでいきましょう！



出身地 北海道

指導医の思い出



もみ ひろあき
籾 博晃

出身校 鶴丸高校▶鹿児島大学

勤務先▶鹿児島市立病院

卒後の進路として呼吸器内科を選択した私は、鹿児島大学の第三内科に入局しました。第三内科では呼吸器疾患の他、神経疾患、膠原病疾患の症例を担当しました。まだまだ社会人には程遠かった私は、自己学習もできないとても残念な研修医でした。それでも当時の指導医の先生は見捨てることなく、懸命に教育、指導をしてくださいました。神経内科の先生に教えていただいた臨床推論の手法は、現在も私の診断過程の根幹となっています。また研修期間中の半年間で他の研修病院呼吸器内科で研修する機会をいただき、呼吸器内科診療の基本、特に感染症診療について深く学ぶことができました。

初期臨床研修の期間は医師、社会人としての振る舞いを学ぶ期間です。臨床の場での疑問点、問題点については、教科書やガイドライン、論文などでまず自己学習をして、その上で指導医とディスカッションするとより深い理解が可能になるのです。

出身地 鹿児島県枕崎市



さかえ はるか
坂江 遥

出身校 池田高等学校▶鹿児島大学

勤務先▶鹿児島大学病院

平成21年に鹿児島大学を卒業し、鹿児島市立病院で2年間の研修を行いました。内科では鑑別診断の挙げ方やサマリーの記載について丁寧に御指導頂きました。また、消化器内科では市中病院では珍しい急性肝炎症例を経験し、腹部エコー検査を指導医の先生に教えていただいた楽しさから、旧第二内科（現消化器疾患・生活習慣病学）へ入局しました。研修医時代の同期は今でも相談できる頼もしい存在であり、また、かつての指導医の先生方にも大学病院でお世話になることも多く、大変有り難く思います。「研修医に戻って今あの状況で勉強したい！」と思うこともあります。過去には戻れませんので、これからも指導医としての勉強、論文作成など頑張っていきたいと思っております。

出身地 鹿児島市



ふくどめ
福留 みのり

出身校 鶴丸高校▶鹿児島大学

勤務先▶鹿児島生協病院

私が初期研修を始めた年は、現在の初期研修プログラムが始まる1年前で、まだ義務化されていませんでしたが、その当時から眼科にすすもうと思っていたので、いろいろな科を経験してからのほうがいいかと思い、2年間の初期研修を始めることにしました。その当時は1,2年目の研修医が2,3人でグループを作り各科を回るシステムになっていて、そのグループの仲間とはかなり濃厚な時間を過ごしました。診療が一息ついたところで一緒に夜ご飯を食べに行き、その後また病院に戻りカルテを深夜までかいて、女医休憩室で雑魚寝して、朝はすっぴんでまた診療へという、今の研修医からすると考えられない日々を送っていました（笑）。忙しすぎて救急車のサイレンやPHSの音が幻聴のように聞こえることもあり大変でしたが、充実していました。なので、思い切り研修時代を楽しみながら、乗り越えていってください。

出身地 鹿児島市



くすもと けいすけ
楠元 啓介

出身校 池田高等学校▶佐賀大学

勤務先▶県民健康プラザ鹿屋医療センター

平成13年に鹿児島大学第一内科（現在の心臓血管・高血圧内科学）に入局しました。命に関わる状況で緊急入院された方が元気に歩いて帰られる姿を見て循環器内科に魅力を感じ、急変時にも慌てず対応できる医師になりたいと思い入局しましたが、実際に初めて担当患者さんの急変の場に立ち会った時はどうしたらいいかわからず怖くて全く動けなかったこと、助けに来てくれた先輩の先生方が神様のようにみえたことを覚えています。その頃は経験を積んでいけばいつか怖くなるのかなと思っていましたが、20年過ぎた今でもやっぱり急変対応は怖いのです。

研修医の時代には研修医でしか経験できないことがたくさんあります。また、自分の専門以外の先生とたくさん仲良くなれますので、のちの財産となります。今思うと研修医の2年間なんてあっという間でしたので、大切に過ごされて下さい。

出身地 鹿児島市

研修医の声



出身地 鹿児島市

しもたかはら しんじゅ
下高原 真珠

出身校 志學館高等部 ▶ 鹿児島大学

研修先 ▶ 鹿児島医療センター

8月を迎え、初期臨床研修医となってから早くも1年4ヶ月が経ちました。慣れない場所、初めて出会うもの、初めての一人暮らし、初めて尽くしのバタバタとした研修1年目でしたが、周りの先生方のご指導や同期の研修医の支えのおかげで、最近はややく自分でできるが増えてきました。

また、研修2年目になって、他の病院で研修させていただく機会も増えたことで、より様々な価値観に触れることができるようになり、自分の価値観も徐々に広がってきたように思います。

今は、入局先も決まって、少しずつ自分の将来が現実味を帯び、そのために自分が今どんな方向に努力をすれば良いのか見えてきて、焦りを感じながらも来年度からの生活を楽しみに思うところです。

まだまだ悩みながら診療する場面ばかりですが、楽しみながらも全力で残りの研修生活を送っていきたいと思います。



出身地 鹿児島市

くぼ としひろ
久保 敏大

出身校 池田高等学校 ▶ 鹿児島大学

研修先 ▶ 鹿児島市医師会病院

明日からの研修生活のため、前日に指導医へ挨拶に行きました。

「まず何から勉強すればいいですか」

学生時代からの処世術でやる気を見せたつもりですが、

「明日から君は医者になるのだから病棟に出て自分で考えろ」

と初っ端から怒られてしまいました。

その日から自分で考えて考えて動いて失敗して、考えて考えてたまにうまくいって、今日に至ります。失敗したこともうまくいったことも全て自分の財産になっています。

もちろん患者さんに侵襲がかかったり、緊急の場合はすぐに上級医に判断を委ねます。そういったTPOを学びながら判断力を身につけることも今の仕事の一つなのかなと最近では思います。

考え続けることを研修の最初に教わり良かったと思います。自分の人生において大切な期間になるよう毎日研鑽に励みたいと思います。



出身地 鹿児島県霧島市

ながやま そうたろう
永山 宗太郎

出身校 志學館高等部 ▶ 鹿児島大学

研修先 ▶ 今村総合病院

研修期間も1年半ほど経ち、今後の進路を決めなければならない時期がやってきました。

そこで唐突ですが私の今後の目標についてお話しします。私は飛行機や新幹線の中での「お医者様いませんか」に対してドヤ顔で手を挙げて対応できることに憧れながら日々研修に励んでおります。実際、十分な医療器具もなく検査も出来ない状況下で、身体診察で患者の状況を把握し次の対応を迅速に行うというのは医師であっても誰でも出来ることではないと思っています。内科全般だけでなく急変対応も可能なスキルが必要であり諸先輩方の中には研修医の戯言と思われる方もいらっしゃるでしょう。しかし、いつか本物になれるだけの環境が今村総合病院にはあると思い入職しましたし、今ではその通りだったと信じております。

残り少ない研修期間ではありますが一日一日少しでも成長できるように精進していきたいと思ひます。



出身地 鹿児島県いちき串木野市

ふくさこ さき
福迫 早紀

出身校 鶴丸高校 ▶ 熊本大学

研修先 ▶ 大隅鹿屋病院

鹿屋に来るのは、高校のスケッチ大会で「かのやバラ園」を訪れた以来になります。

大学は県外でしたが、初期研修は地元の鹿児島で出来たらいいなと思っていました。

学生時代には、自分に合う病院はどういうところなのか探しながら県内外の様々な病院を見学しました。

その中でも大隅鹿屋病院では、先生方が学生に対して丁寧に教えてくださったり、いろいろな手技などの経験をさせてもらったりしたことがとても印象に残りました。また、病院全体の雰囲気も良かったことも決め手となりました。

患者さんに寄り添い、頼りにされる医師になりたいと思っています。学ぶ姿勢を常に持って、努力を惜しまず頑張ります。

ト

TOPICS

ピ ッ ク ス

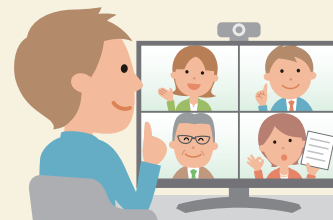


協議会主催の令和3年度第1, 2回オンライン合同説明会を開催!!

令和3年6月と10月に、県内のすべての基幹型臨床研修病院が参加し、オンライン合同説明会（Zoom）を開催しました。

県内外から数多くの医学生の方に参加していただき、指導医・研修医・病院関係者から病院・研修プログラム内容の説明や研修医生活について説明してもらいました。

また、参加した医学生からは、研修病院の選び方から採用基準、給与のことまで、さまざまな質問があり、病院側も丁寧に対応しました。



令和3年度第3回オンライン合同説明会の開催決定!!

令和4年2月にもオンライン合同説明会（Zoom）を開催することが決定しました。

前回同様、県内のすべての基幹型臨床研修病院が参加し、研修プログラム内容の説明や研修医・指導医への質疑応答等の実施を予定しています。

鹿児島県内の方はもちろん、遠方で直接病院を訪問できない方も、この機会に是非ご参加ください!

オンラインだからこそ、対面では聞きづらい質問ができたり、また、複数の医学生が参加しているからこそ、他の方がどのような視点で病院選びをしているか分かったりするなど、今後の病院選びにプラスになること間違いなし!!!

詳細は決定次第、協議会公式Webサイト等にてご案内します。

公式WebサイトURL ⇒ <https://kagorinsho.jp/>



県外医学生等出前セミナーについて

当協議会では、県内の研修医や指導医が、県外医学生の住むまちに伺い、県内の最新の研修プログラムについて説明したり、病院見学や、臨床研修のこと、鹿児島での生活についてなど、医学生からの質問についてお答えしたりする「県外医学生等出前セミナー」を開催しています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、訪問することが難しくなっています。そこで、オンラインシステム「Zoom」を使い、オンラインでの面談を実施していきます。

県外にいながら、研修医や指導医の生の声を直接聞くことができる機会として、お一人でも、ご友人と一緒にでも大歓迎ですので、興味のある方はぜひ当協議会事務局までご連絡ください。

e-mail : iryokaikaku-ishikakuho@pref.kagoshima.lg.jp

TEL : 099-286-2581



鹿児島県初期臨床研修連絡協議会（事務局：鹿児島県 暮らし保健福祉部 医師・看護人材課）

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10-1

e-mail iryokaikaku-ishikakuho@pref.kagoshima.lg.jp

TEL **099-286-2581** FAX **099-286-5928**